

明かりをつける

壁スイッチで操作する

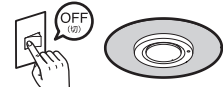
■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：ラストメモリー点灯
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。



ラストメモリー点灯
前回点灯時の状態で
点灯させます。
※常夜灯の明るさも
前回点灯時の状態
で点灯します。

壁スイッチ OFF：消灯
消灯します。



リモコンで操作する

①壁スイッチを
「ON」にする



②リモコンを
本体に向けて
ボタンを操作
する



■明るさを変える

シーリングライトの明るさを調節します。
※調光10段階
調光範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

〔調光ボタン〔明るく〕〕

明かりを1段階明るくします。
長押しで連続調節できます。

〔調光ボタン〔暗く〕〕

明かりを1段階暗くします。
長押しで連続調節できます。

■明かりを記憶させる

メモリーに2つまで、お好みの明かりを記憶し、
以後簡単にその明かりを再現できます。

〔メモリボタン〕

5秒長押し：「ビビッ」と音がなり、明かりを記憶します。
以後短いタッチでボタンを押すと記憶させた明かりを
再現します。
変更する場合は再度5秒長押しすることで別の明かり
を記憶させ上書きします。

■明かりをつける

〔点灯／全灯ボタン〕

消灯状態からラストメモリー点灯します。点灯
した状態でもう一度押すと全灯になります。繰
り返し押すとラストメモリー点灯と全灯を繰り
返します。



〔常夜灯ボタン〕

夜間に適した明かりで点灯します。

〔消灯ボタン〕

明かりを消灯します。

ご注意

- 壁スイッチをOFFにしたり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマーで消灯した場合、再点灯させるには、リモコンで再度点灯してください。
- 最小調光の明るさ以下にはなりません。

■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチをONにした状態で、短く(1秒以内)スイッチを操作することで、
点灯状態を切り替えることができます。



■色を変える

シーリングライトの色を調節します。
※調色10段階
調色範囲を超えると、「ビビッ」と音がします。

〔調色ボタン〔白色(昼光色)〕〕

明かりを1段階ずつ白色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

〔調色ボタン〔暖色(電球色)〕〕

明かりを1段階ずつ暖色に近づけます。
長押しで連続調節できます。

■操作する発光部を切り替える

導光板発光部と前面発光部を別々に調光・調色の設定ができます。

〔操作光源選択ボタン〕

2秒長押し：「ビッ」と音がなり、前面発光部が明滅し、前面発光
部のみ操作できます。
もう一度2秒長押し：「ビビッ」と音がなり、導光板発光部が明滅し
導光板発光部のみ操作できます。
※どちらかの光源を選択操作中に、5秒以上操作が行われな
いと、「ビビー」と音がなり、両方の発光部が明滅し、選択状態
が解除されます。

ご注意

操作光源を選択中は〔メモリボタン〕、〔常夜灯ボタン〕、
〔おやすみタイマーボタン〕の操作はできません。
操作する場合は、5秒以上待ち、選択状態が解除されてから
各ボタンを操作してください。

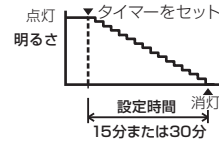
■おやすみタイマーで消灯させる

リモコンでおやすみタイマーを設定すると、しだいに暗くなり
15分または30分後に消灯します。

〔おやすみタイマーボタン〕

1回目：「ビビッ」と音がなり15分で設定できます。
2回目：「ビビビッ」と音がなり、30分で設定できます。
3回目：「ビビー」と音がなり、タイマーを解除します。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



チャンネルの切り替えについて

※出荷時はCH1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチが
あれば、ON (入) になっていることを確認して
から、切り替えてください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側
にあるスライドスイッチを動かしてチャン
ネルを切り替えてください。

※リモコンのチャンネル切り替えに合わ
せて、チャンネル設定信号が照明器具
にも送られます。

複数の照明器具がある場合

●1つのリモコンで操作する
複数の照明器具を同じチャンネルに設定します。
※照明器具間の距離やリモコン操作時の方向に
よっては同時に点灯しない場合があります。

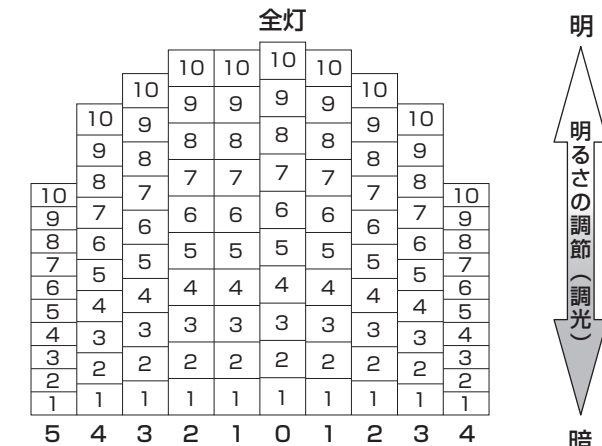
●別々のリモコンで操作する
隣接する照明器具のチャンネルを
別々に設定することでそれぞれ
対応するリモコンでのみ操作でき
ます。



ご注意

複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更し
たい照明器具だけが信号を受ける向きに付けるか、設定を変更したい照明器
具に近づけるなどして設定してください。
他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。
※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF (切) にしたり、間に
扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

明かりの色が昼白色 (5000K) で全灯のときが最も明るく
なります。調色を行い、光の色合いを強くすると明るさは
低下しますが、異常ではありません。



約2700K
(電球色)

約5000K
(昼白色)

約6500K
(昼光色)

明かりの色の調節 (調色)



PANEL LEDシーリングライト
LIGHT

パネルライト

CEA-A08DLP-S／CEA-A08DLP-N
CEA-A12DLP-S／CEA-A12DLP-N

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外では
ご使用になれません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

共通取扱説明書

保管用

■取り付け可能な
配線器具



注意 配線や端子が露出している配線器具には取り付けしないでください。感電のおそれがあります。
ご不明な場合は、お買い上げの販売店または工事専門店へお問い合わせください。

角型・丸型引掛シーリングローゼット／出し：20～24mm

出し



埋込引掛ローゼット／出し：10～14mm

出し



安全上の注意

安全に使用いただくために下記の
事項を必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号



禁止を示す記号



必ず行うことを示す
記号です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。



禁止

改造や、部品交換をしない

落下・感電・火災などの原因になります。

調光器を使用しない

破損や発煙の原因になります。
(配線器具の交換は資格が
必要です。)



可燃物で覆わない

可燃物を被せたり、近づけたりしない
火災の原因になります。

取り付けできない天井・配線器具に取り付けない

「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取
り付けないでください。落下・感電・火災などの原因になります。(配線
器具の交換は資格が必要です。)



必ず実施

取り付けは確実に行う

落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に取り付けて
ください。

異常を感じたら速やかに電源を切る

すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへ問い
合わせください。

交流100Vで使用する

火災・感電のおそれがありますので、定格電圧以外では使用しないでくだ
さい。

清掃・取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る

感電の原因になります。

注意



禁止

LED光源を直視しない

目を傷める原因になることがあります。

点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない

やけどの原因になることがあります。

破損した場合は使用しない

落下してけがの原因になります。
破損した場合は修理を依頼してください。

適正温度で使用する

高温環境下で使用すると火災の原因になります。
5～35℃の環境で使用してください。

屋外や湿気の多い場所で使用しない

故障や感電の原因になります。

水洗いしない

火災・感電の原因になります。
「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで
清掃してください。

薬品を使用しない

変形・火災の原因になります。
殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。

特殊なガスや粉塵・オイルミストの多い空間、さびが出やすい場所、

振動のある場所に取り付けない

さびやケミカルクラックによる器具の劣化や破損の原因になります。
また振動により落下のおそれがありますので取り付けしないでください。



必ず実施

1年に1回は自主点検を実施する

長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、保証書の
「安全チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。
設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。
※参考使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯
した場合。(JIS C8105-1解説による)

ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない
場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器
(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正
常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があり
ます。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入
る場合があります。
- LED照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。長期間使用しない
場合は、壁スイッチを切ってください。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらができることがあります。
- 調色によっては全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わる場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあり
ます。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへの設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでくださ
い。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでく
ださい。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模
様やちらが見える場合があります。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564
9:00～17:00 (年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070
9:00～17:00 (年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

配線器具
(付属していません)

↑

↑

取り付け用付属品

↑

↑

スペーサー (角) スペーサー (丸)

本体 (分解しないでください)

導光板発光部

つまみ

前面発光部

ロック解除ボタン (2か所)

カバー

本体裏側

スポンジ

端子

電源カバー

付属部品

●リモコン：1台 ●リモコンホルダー：1個

●単4形アルカリ乾電池：2本 ●ねじ：2本

動作確認用

●スペーサー (角)：1個 ●スペーサー (丸)：1個

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。

※一部の配線器具には取り付けられない (ゆるい、きつい) 場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
CEA-A08DLP-S	36.1W	4200lm（最大点灯時）	AC100V	50Hz/60Hz	0.5W	φ550 × H70 mm	約2.3kg
CEA-A08DLP-N							
CEA-A12DLP-S	45.6W	5200lm（最大点灯時）					
CEA-A12DLP-N							

※光束維持時間は 40,000 時間です。光束維持時間とは、全光束が 70%に低下するまでの時間を推定したものです。表示は設計時間であり、製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。

× 舟底天井 × さおぶち天井 × 格子天井

× 補強のない薄い天井 (ベニヤ板、石膏ボードなど)

× 簡単にたわむ天井 × 壁面 × 傾斜天井

× 不安定な場所 × 突出物や凹凸のある天井

↓

照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)

× ケースウェイに取り付けてある

× 端子電源端子が露出している

× 埋込ローゼットの出しが10mm未満あるいは14mm以上

× シーリングハンガーが付いている

× 角型・丸型引掛シーリングの出しが20mm未満あるいは24mm以上

× 凸部凸部がある

× 破損しているぐらつく

お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをおすすめします。

●必ず壁スイッチをOFF (切)にするか、電源を遮断してください。感電の原因となります。

●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れが落ちたことを確認後、洗剤を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

●リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。

一次のものは使用しない

× ペンジン × シンナー × みかき粉 × タワシ × スポンジの硬い面

絶対に、水をかけたり、水につけて洗ったりしないでください。火災・感電・故障の原因になります。

取り付け

警告 取り付けは必ず電源を遮断してから行ってください。

1 配線器具にスペーサーを取り付ける

それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)

※一部の配線器具には取り付けられない (ゆるい、きつい) 場合があります。その場合には、スペーサーは使用しないでください。

角型引掛シーリングの場合

丸型引掛シーリング・ローゼットの場合

2 カバーを取り外す

カバーを反時計回りに回して本体から取り外してください。導光板発光部の保護フィルムをはがしてください。

3 本体を取り付ける

① 本体中央のつまみを持ち、のぞき窓から配線器具の (端子) 差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。

※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。

② そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。

③ つまみを時計回りに回します。

つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。

※ロック解除ボタン (「取り外し」参照) は押さずに回してください。

押しながら回すと「カチッ」と音がしません。

※配線器具の種類によっては「カチッ」と音がしない場合があります。

4 カバーを取り付ける

① カバー表面に刻印されている△を本体側のカバー取付面に刻印されている▽に合わせ、カバーを真っ直ぐ押し込んでください。

② カバーを回転が止まるまで時計回りに回してください。本体側に刻印されている○とカバー表面に刻印されている△が合っていることを確認してください。

注意

本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

警告

カバーは確実に本体に取り付けてください。落下によるけがのおそれがあります。

取り外し

警告 ●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。

●消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1 カバーを取り外す

カバーを反時計回りに回して本体から取り外してください。

2 本体を取り外す

① つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ同時に押してください。

② そのまま反時計回りに回して本体を外してください。

注意

本体を片方の手で支えながら外してください。本体の落下によるけがや破損の原因となります。

3 スペーサーを取り外す

注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

乾電池の入れかた

1 つめを押ししながら、裏面のカバーを持ち上げる

2 表示に合わせて⊕⊖を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを開める

●電池の寿命は新品のアルカリ乾電池を使用したときで、約1年です。付属の電池は動作確認用であり、上記より早く消耗することがあります。

●電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。

●新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。

●長時間使用しないときは、電池を取り出して保管してください。

リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態では操作しないでください。

リモコン

リモコンホルダー

壁

ねじ (付属)